

## 公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2018年3月15日（木曜日） 11時30分～12時30分

場所： 千葉大学西千葉キャンパス・C会場（総合校舎4号館2F）（千葉県千葉市）

出席代議員： 縣、犬塚、太田、寺澤、土居、牧島、松下、嶺重、百瀬、山田、吉田、青木、大朝、大向、岡村、海部、河合、草野、小久保、柴田（一成）、戸谷、馬場、渡部（以上23名、委任状12名）

欠席代議員： 櫻井、佐藤、杉山、中川、林（正彦）、観山、相川、奥村、須藤、田村、常田、林（左絵子）、望月（以上13名）

伊王野・山下庶務理事、早野・柴田会計理事、佐藤事務長、田口谷事務員が出席した。柴田一成会長、土居副会長は代議員を兼任している。

### I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が23名、議長委任状が12件、合計35名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前交代議員総会（2018年1月20日）及び臨時代議員総会（2018年2月12日）の議事録が確認された。

また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：柴田一成

署名人：柴田一成

### II. 議題（本代議員総会では前回に引き続き報告に先立って議題から進めることとした）

#### II-1. 安全保障と天文学

昨日の特別セッション「安全保障と天文学」には200名以上の参加者があり、講演や議論の概要の説明があった。次回年会でも特別セッションを開き、次々回年会では声明を出せるように努力する、ガイドラインを出すかどうかについては議論の結果を元に考える、とする方針が示された。その他、「若手アンケートで約80%の人が議論を続けるべきであると考えているのは良かった」、「原則の認識が大事であるが、具体的な対応の議論も必要」、「他の学協会・各大学の現状把握も重要」、「声明をだすには年会の特別セッションだけでは不十分で、ワークショップ等を開催する必要がある」、などの意見が出された。

### III 報告

#### III-1. 理事会（2018年3月14日）の報告（伊王野）

2018年3月14日に開催された理事会の議題および報告事項が報告された。

#### III-2. 開催中の年会および今後の年会準備進捗状況（伊王野）

法政大での年会で平日に大講堂が使えないことが判明して対応に苦慮している。年会改革についての会員アンケートを実施中。

### III-3. 記者発表について（代理伊王野）

6社から取材があったが記事にはあまりなっていない。会場となった県庁記者クラブは登録されている加盟社の記者しか出入りできないためにフリーの記者がアクセスできない可能性があった。安全保障に関する議論などがその後、国内外のメディアに掲載されている。

### III-4. 学術会議 天文学・宇宙物理学分科会報告（山田）

24期になって初めての報告である。23期の活動の紹介があった。マスタープラン 2020の策定に向けてシンポジウムを開催予定である。IAU 100周年シンポは2019年4,5月に開催を考えており、詳細は次回の代議員総会に提案する。

2018年3月15日

議長・署名人： 柴 田 一 成 印